



## 「人道」って? ～赤十字と人道～

北京オリンピックが終わって間もない2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻を始めました。2か月が経った今でも戦争は終わらず、テレビや新聞、ネットニュース等でウクライナ情勢が報道されない日はありません。「戦争」がもたらす悲惨な現実を前に、何か自分にできることはないだろうかと考える人も多いと思います。

また、3月16日には福島県沖で最大震度6強の地震が発生し、多くの方々が被災されました。11年前の東北大震災から復興しつつある中で被災に心を痛めた人も多かったことでしょう。そこで本校のJRC(青少年赤十字)部は「募金活動」を行うことにしました。朝の慌ただしい時間に快く募金に協力してくださった生徒のみなさんや先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

### 【報告】

実施期間：4月13日(水)～22日(金)の8日間 朝8時15分から30分まで

場 所：生徒昇降口

募金総額：ウクライナ人道危機救援金 4,507円

福島県沖地震災害義援金 3,030円

7,537円

日本赤十字社を通じて届けられます

生徒の声：

「少しでも人の役に立てたらいいなと思い募金しました、少額でしたけど。」

「募金箱にお金を入れたら、『いいことしたな』と思った。」「戦争が早く終わればいい。」



さて、ニュースなどでよく使われる「人道」という言葉ですが、みなさんはその言葉の意味を知っていますか？(以下は日本赤十字社の説明からの引用です) 1965年にオーストリアのウィーンで開催された、第20回赤十字国際会議でいわゆる「赤十字7原則」が決議、宣言されました。7原則とは「人道(Humanity)」「公平(Impartiality)」「中立(Neutrality)」「独立(Independence)」「奉仕(Voluntary Service)」「単一(Unity)」「世界性(Universality)」を指しますが、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は敵味方の別なく救われなければならない」という「人道」こそが赤十字の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものです。

日本赤十字社は、1877年(明治10年)の西南戦争の最中に設立された「博愛社」という救護団体がその前身ですが、日本政府がジュネーブ条約(赤十字条約)に加盟した翌年の1887年(明治20年)に日本赤十字社に改称しました。世界で19番目の赤十字社ということです。一方、日本の青少年赤十字は1922年(大正11年)5月に滋賀県で少年赤十字団という名称で生まれ、今年で100周年を迎えます。

本校では青少年赤十字は部活動として活動していますが、「人間を救うのは人間だ」という日本赤十字社のキャッチフレーズを目にしたり耳にししたりしたことのある人もいるでしょう。「気づき、考え、実行する」のが青少年赤十字の態度目標です。これからも少しずつではありますが、「人道」を尊重して活動していきたいです。



【行事予定】 5月 2日(月) 体験的学習活動等休業日  
6日(金) 体験的学習活動等休業日  
11日(水) 1年生：情報モラル教室  
週末の大会参加予定 ソフトテニス、陸上

